

タイトル	トイレにお金は必要ですか？
ポーランド語のタイトル	Czy potrzebujemy pieniędzy do toalety?
テーマ *	b
名前	ヴィクトリア ポモルスカ
ポーランド語の名前	Wiktoria Pomorska
学校名 * 2	ワルシャワ大学日本学科
学年	4 年生
日本滞在歴	2 週間

* a. 異文化理解 b. 現代の諸問題 c. 私の大切なもの d. 私からの未来へのメッセージから選択

皆さんは、町を歩いていて、突然トイレに行きたくなったことがありますか。これは自然の摂理なので、誰にでもあると思います。ではその時、皆さんは有料の公衆トイレに入りますか。それとも、お金を払いたくないので、がまんしますか。

ヨーロッパでは、大抵お手洗いは有料です。それは、ヨーロッパにはホームレスがたくさんいるからかもしれませんが、中央駅のような、人が大勢利用する公共の場所でも、お手洗いが有料だというのは問題です。

私はポーランド人なので、トイレにお金を払うことに抵抗はありませんでしたが、去年、韓国へ行った時に、大きなカルチャーショックを受けました。

ある日、私は韓国人の友達と市場を観光しました。すると、その友達が突然、「あ！ちょっとトイレに行って来るね。」と言って、どこかに消えてしまったのです。近くにお手洗いの案内表示もなかったので、少しびっくりしました。「どこでトイレをするのかな。もしかして、わざわざ家に帰ったのかな。」と心配しました。ところが数分後、友達は涼しい顔をして戻って来ました。どこに行ったのか聞いてみると、「近くの建物だよ。」と答えました。「韓国ではどこでもただでお手洗いに入れるんだよ。どんな建物にも、大抵、二階か三階にトイレがあるから黙って使っちゃうの。」と説明してくれました。何と便利なんでしょう！すばらしいですね。

日本も似たような事情のようです。お店のトイレを借りたい場合は、何か注文するのがマナーですが、駅やデパートといった多くの人が使う公共の場所は無料になります。コンビニのトイレもただです。

一方ポーランドでは、お手洗いに行きたくても、お金を払いたくないので、近くの森に行く人もいます。そしてそのせいで森は汚れ、悪臭を放つようになります。

では、一体どうすればいいのでしょうか。私はトイレに座りながら、いくつか解決策を考えてみました。

1. 街の予算に公共トイレの建設費を計上する。
2. 新しい法律を作り、レストランを開く時は、そこのトイレを公共のものとするという条件をつける。
3. 公共トイレの使用は公共の財産であるという概念を植え付けるために、社会全体で教育プログラムを作る。

さあ、どうでしょうか。このようにすれば、ポーランドにも、無料トイレが普通の社会がやって来るかもしれません。もちろん、使う方のマナーも大切です。日本の学校では、生徒が自分たちのトイレを掃除し、みんなで使う場所はきれいにするという心遣いを自然と学びます。

ポーランド人も、トイレを利用しやすくし、清潔に保つということを日本人や韓国人から学ぶべきだと思います。きれいなトイレにただで入れる社会は、それはそれは美しい社会だと思いますか。

Podsumowanie(60-70 słów)

Moja wypowiedź przedstawia problem odpłatnych toalet publicznych. Porównuję obecną sytuację w Polsce, gdzie toalety publiczne są zazwyczaj płatne oraz w Korei, gdzie są one bezpłatne. Swoje obserwacje i osady opieram na własnym doświadczeniu. Nawiązuję też do postrzegania dobra wspólnego przez Japończyków. Na koniec przytaczam kilka przykładowych rozwiązań jak można by w Polsce zmienić system płatnych toalet.